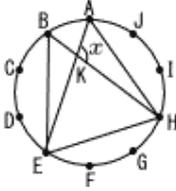
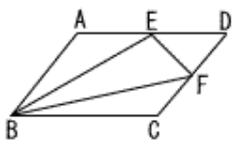


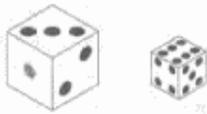


印刷して、紙の上でやってネ！

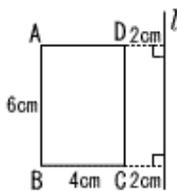
1	😊 $5x - 3x$	9	<p><math>y</math>が<math>x</math>の一次関数で、そのグラフの傾きが2で、点<math>(-3, -2)</math>を通るとき、この一次関数の式を求めなさい。</p>														
2	😊 $2 \times (-4) - 1$																
3	$6x^2y \times 12y \div 4x$	10	<p>右の図のように、円周の長さを10等分する点A~Jがあります。<math>\triangle AEH</math>と<math>\triangle BEH</math>をつくり、辺AEと辺BHとの交点をKとすると、<math>\angle AKH</math>の大きさ<math>x</math>を求めなさい。</p> 														
4	😊 方程式 $5x - 7 = 6x - 3$ を解きなさい。																
5	😊 $\sqrt{12} + \sqrt{3}$	11	<p>右の図のような平行四辺形ABCDがあり、辺AD, CDの中点をそれぞれE, Fとします。このとき、<math>\triangle EBF</math>の面積は<math>\triangle DEF</math>の面積の何倍になるか求めなさい。</p> 														
6	$x^2 - x - 72$ を因数分解しなさい。																
7	連立方程式 $\begin{cases} 6x - y = 10 \\ 4x + 3y = -8 \end{cases}$ を解きなさい。	12	<p>右の表は、あるクラスの生徒20人が、2学期に借りた本の冊数を、度数分布表に表したものです。この表から読みとることができる内容として正しいものを、次のア~エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。</p> <table border="1" data-bbox="1348 1355 1508 1702"> <thead> <tr> <th>借りた本の冊数(冊)</th> <th>度数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以上 未満 0 ~ 4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>4 ~ 8</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>8 ~ 12</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>12 ~ 16</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>16 ~ 20</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>ア 中央値は8冊以上12冊未満の階級にある。                      イ 8冊以上12冊未満の階級の相対度数は4である。                      ウ 最頻値は8である。                      エ 12冊以上16冊未満の階級の累積相対度数は0.85である。</p>	借りた本の冊数(冊)	度数(人)	以上 未満 0 ~ 4	2	4 ~ 8	3	8 ~ 12	4	12 ~ 16	8	16 ~ 20	3	合計	20
借りた本の冊数(冊)	度数(人)																
以上 未満 0 ~ 4	2																
4 ~ 8	3																
8 ~ 12	4																
12 ~ 16	8																
16 ~ 20	3																
合計	20																
8	2次方程式 $2x^2 + 7x + 1 = 0$ を解きなさい。																

13 1から6までの目が出る大小2つのさいころを1回投げて、大きいさいころの出た目の数を $x$ 、小さいさいころの出た目の数を $y$ とします。このとき、 $10x+y$ が7の倍数になる確率を求めなさい。

ただし、大小2つのさいころは、どの目が出ることも同様に確からしいものとします。



14 右の図のような、 $AB=6\text{cm}$ 、 $BC=4\text{cm}$ の長方形ABCDと直線 $l$ があり、辺DCと直線 $l$ の距離は2cmです。このとき、長方形ABCDを、直線 $l$ を軸として1回転させてできる立体の体積を求めなさい。

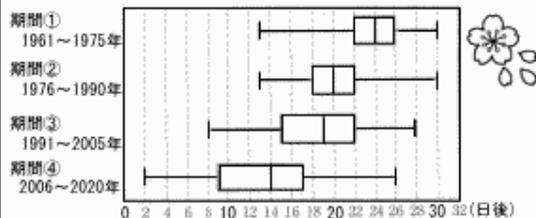


15 下の図のように、直線 $l$ 上に1辺が8cmの正三角形を底辺が4cmずつ重なるようにかいていきます。正三角形を $x$ 個かいたとき、かげ(斜線)をつけた重なる部分と重ならない部分の面積の比が2:5になりました。このとき、 $x$ の値を求めなさい。



次は、先生とSさん、Tさんの会話です。これを読んで、下の問に答えなさい。

先生「わたしたちの中学校では、校庭にある桜の開花日を生徒会の役員が毎年記録しています。次の図は、1961年から2020年までの記録を、3月15日を基準日としてその何日後に開花したかを、期間①から期間④の15年ごとの期間に分け、箱ひげ図にそれぞれ表したものです。これを見て、気づいたことを話し合ってみましょう。」



Sさん 「4つの箱ひげ図を見ると、桜の開花日は60年間でだんだん早くなっているようだね。」

16 Tさん 「だけど期間①と期間②の箱ひげ図は、最も早い開花日と最も遅い開花日が同じ位置だよ。それでも、開花日は早くなっているといえるのかな。」

Sさん 「期間①と期間②の箱ひげ図を比べると、



から、期間①より期間②の方が、開花日は早くなっているといえると思うよ。」

問 会話中の□にあてはまる、開花日が早くなっていると考えられる理由を、**第1四分位数**、**第3四分位数**という二つの語を使って説明しなさい。

